

1 ヤコブは兄エサウから長子の権利を買った

創世記 25:29 さて、ヤコブが煮物を煮ているとき、エサウが飢え疲れて野から帰って来た。30 エサウはヤコブに言った。「どうか、その赤いのを、その赤い物を私に食べさせてくれ。私は飢え疲れているのだから。」それゆえ、彼の名はエドムと呼ばれた。31 するとヤコブは、「今すぐ、あなたの長子の権利を私に売きなさい。」と言った。32 エサウは、「見てくれ。死にそうなのだ。長子の権利など、今の私に何になろう。」と言った。:33 それでヤコブは、「まず、私に誓いなさい。」と言ったので、エサウはヤコブに誓った。こうして彼の**長子の権利をヤコブに売った。**

2. ヤコブは母リベカの指示で、兄エサウをだまして長子の祝福を受け取る

創世記 27:6 リベカはその子ヤコブにこう言った。「いま私は、父上が、あなたの兄エサウにこう言っておられるのを聞きました。7 『獲物をとって来て、私においしい料理を作り、私に食べさせてくれ。私が死ぬ前に、主の前でおまえを祝福したいのだ。』:8 それで今、わが子よ。私があなたに命じることを、よく聞きなさい。:9 さあ、群れのところに行って、そこから最上の子やぎ二頭を私のところにとっておいで。私はそれで父上のお好きなおいしい料理を作しましょう。:10 あなたが父上のところに持って行けば、召し上がって、**死なれる前にあなたを祝福してくださるでしょう。」**

3. 兄のエサウの人生【肉による人生】

- a) 父が死んだらヤコブを殺そうと思う【創世記 27:41-42】
- b) エサウのカナン人の妻たちは母を苦しめた【創世記 27 : 46】
- c) エサウはイシュマエルの娘を妻に迎える【創世記 28 : 8-9】

4. ヤコブは、父と母に従って、叔父ラバンの元へ妻を探しに旅にでる

創世記 28:1 イサクはヤコブを呼び寄せ、**彼を祝福し、そして彼に命じて言った。**「カナンの娘たちの中から妻をめとってはならない。:2 さあ、立って、パダン・アラムの、おまえの母の父ベトエルの家に行き、そこで母の兄ラバンの娘たちの中から妻をめとりなさい。:3 **全能の神がおまえを祝福し、多くの子どもを与え、おまえをふえさせてくださるよう。そして、おまえが多くの民のつどいとなるように。**4 **神はアブラハムの祝福を、おまえと、おまえとともにいるおまえの子孫とに授け、神がアブラハムに下さった地、おまえがいま寄留しているこの地を継がせてくださるよう。」**

5. ヤコブは、旅の途中で祖父の神に出会う

創世記 28:10 ヤコブはベエル・シェバを立て、カランへと旅立った。:11 ある所に着いたとき、ちょうど日が沈んだので、そこで一夜を明かすことにした。彼はその所の石の一つを取り、それを枕にして、その場所で横になった。12 そのうちに、彼は夢を見た。見よ。一つのはしごが地に向けて立てられている。その頂は天に届き、見よ、神の使いたちが、そのはしごを上り下りしている:13 そして、見よ。主が彼のかたわらに立っておられた。そして仰せられた。「**わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。**わたしはあなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫とに与える。14 **あなたの子孫は地のちりのように多くなり、あなたは、西、東、北、南へと広がり、地上のすべての民族は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。**:15 **見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」**:16 ヤコブは眠りからさめて、「まことに主がこの所におられるのに、私はそれを知らなかった。」と言った。17 彼は恐れおののいて、また言った。「この場所は、なんとおそれおおいことだろう。こここそ神の家にほかならない。ここは天の門だ。」18 翌朝早く、ヤコブは自分が枕にした石を取り、それを石の柱として立て、その上に油をそそいだ。:19 そして、その場所の名をベテルと呼んだ。しかし、その町の名は、以前はルズであった。:20 それからヤコブは誓願を立てて言った。「神が私とともにおられ、私が行くこの旅路で私を守ってくださり、私に食べるパンと着る着物を賜わり、21 私が無事に父の家に帰ることができ、主が私の神となってくくださるので、22 私が石の柱として立てたこの石は神の家となり、すべてあなたが私に賜わる物の十分の一を私は必ずあなたにささげます。」

1. ヤコブは初めて全能の神様に会う体験をする。
アブラハムの祝福の契約を受け取る。【土地の付与、子孫の繁栄、祝福の基】
神様が共にいて、決して捨てないと約束を受け取る。
2. ヤコブは、神様を礼拝した
自分中心の考えや計画ではなくて、神様を神様とする生き方をスタートする。
3. ヤコブは神様に応答した。
神様が共に歩んでくださる感謝と主の備えから10分の1を捧げる決心

6. 神様の祝福を求め続けたヤコブの人生

人間的な方法で神様の祝福を受け取って、兄から恨みを買ってしまい、逃亡生活へと導かれました
神様は、ヤコブにご自身を現わして、神様は決してヤコブを捨てない、共にいると約束されました
ヤコブは、神様を礼拝して、神様と共に歩む人生をスタートします。

7 神の国とその義を第一に求める生き方

マタイ 6:32 こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの
天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。
6:33 だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらの
ものはすべて与えられます。:34 だから、**あすのための心配は無用です。**あすのことはあすが心配
します。労苦はその日その日に、十分あります。

神の国：神様が御支配される国
神様の義：神の御言葉に従って歩む



この世：悪魔の支配、肉欲に満ちた世界
自分の義；自分が神様、自己中心
世の中の義：世の中の慣習、風習に従う

箴 10:22 主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦労は何もそれに加えない。

➤ **心配無用の人生**



- 労苦で満たされる。
- 平安がなく、心配で満ちる

➔ ヤコブの人生から学びましょう

1. 貴方は何を求めて歩んでいますか。貴方の祈りの中心は？何が人生の目的ですか。
A) 肉的な事？お金？家族？仕事？将来の安全？自分の必要、この世の中の事だけですか？
B) 精神的なこと？ 平安？様々なことから解放されること？
C) 霊的な事？ 聖霊に満たされる、主の御心に歩む、家族や友人の救い、霊的賜物、
2. ヤコブはどうだったのでしょうか。
ヤコブは全能の神様を知りませんでした。祝福も具体的にはわかっていませんでした。
ヤコブは全能の神様に会いました。神が共にいて下さり、守って下さることを知ったのです。
神様を神様として礼拝を捧げました、神様に受けた10分の1を捧げると決心しました。
3. 神様の祝福は、一代限りではありません。貴方も貴方の子孫【肉と霊の子孫】も祝福されます
神様は、主に従う者のすべての必要をご存じで、全てを備えて下さいます
主に従う者は、結果として、心配の無い、平安な日々をすごすことができます。
主がくださる平安はこの世の中の平安とは違います。全き平安です。お金では買うことができません
4. イエス様を神様として、御言葉に従って歩むならば、肉の必要、精神の必要、霊の必要すべてを
満たして下さいます。お金や肉的な欲に従って歩まないようにしましょう。

“財宝も、快樂も、長く私どもを幸福にはせぬ。心こそ、常に人の幸不幸を定める器官だ”ロバートバーンズ